

山形県立保健医療大学 2021 年度入学者選抜基本方針

1 背景

文部科学省では、高等学校教育、大学教育及び両者を接続する大学入学者選抜を連続した一つの軸として、一体的に改革する「高大接続改革」を提示し、高等学校教育、大学教育の改革と合わせ、大学入学者選抜改革が進められております。

大学入学者選抜については、受験生の「学力の3要素」である、①知識・技能の確実な習得、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について、多面的・総合的に評価する入試に転換することとされております。

この改革に伴い、2021年度に行われる、2021年度大学入学者選抜試験から「共通テスト」が実施されるとともに、英語については、民間検定試験を導入することとされております。

山形県立保健医療大学においても、この改革及び受験生減少が進んでいる状況のもと、受験者及び入学者確保を進めるため、アドミッションポリシー及び入学者選抜方針を見直すことといたしました。

2 アドミッションポリシー

これまで、各学科が求める学生像に合わせ、学科毎にアドミッションポリシーを提示しておりましたが、本学の教育目標に照らし、アドミッションポリシーを3学科統一のものとしします。

●新アドミッションポリシー

教育目標に基づき本学では次のような優秀な者を受け入れます。

1. 専門職に関心を持ち、必要な科学的知識・技術の習得および探求に意欲のある者

専門職として技術の進歩に関心を持ち、常に対象となる方に対して最善の方策を探求しなければなりません。科学的知識・技術の習得に意欲がある者を求めます。

2. 高い専門的知識・技術の習得に必要な基礎的学力を備えている者

高い専門的知識・技術の習得のためには、基礎的な学力が必要とされます。専門的な知識・技術の習得に必要な水準の学力を備えている者を求めます。

3. 他者とよい人間関係を作るためのコミュニケーション能力を備えている者

対象者やその家族、チーム医療を担う他の専門職に対して、コミュニケーションをとる必要があります。言語的コミュニケーションのみならず、非言語的コミュニケーション（表情、態度など）が取れる能力、よい人間関係をつくれる力を備えている者を求めます。

4. 常に社会の変化に関心を持ち、専門職として社会に貢献する意欲のある者

身近な地域から国際社会まで幅広く関心を持ち、専門職として社会に貢献する意欲がある者を求めます。

5. 多様な価値観を尊重できる者

専門職として様々な年代、健康状態、社会経済的背景および文化的背景を持つ人々に接する機会が多くあります。多様な価値観を尊重することができる者を求めます。

6. 論理的に思考し表現・行動できる者

対象者やその家族、チーム医療を担う他の専門職に対して、筋の通った自己の考えを言語化、文章化して表現する必要があります。そのために論理的に思考し表現・行動できる者を求めます。

3 2021 年度入学者選抜基本方針

- ① 一般入試、推薦入試、AO入試（地域枠）に共通テストを導入します。
- ② 一般入試の個別学力検査等における総合問題については、共通テストと異なる内容にするとともに、小論文の導入等、試験内容により、特徴を出すこととします。
- ③ 一般入試、推薦入試、AO入試（地域枠）の試験教科は以下のとおりとします。

○一般入試【看護学科、理学療法学科、作業療法学科】

共通テスト					個別学力検査等	
国語	数学	地歴 公民	理科	外国語 英語	総合問題	面接

○推薦入試【看護学科、理学療法学科、作業療法学科】

共通テスト					試験科目	
国語	数学	地歴 公民	理科	外国語 英語	小論文	面接

○AO入試（地域枠）【看護学科】

共通テスト					個別学力検査等	
国語	数学	地歴 公民	理科	外国語 英語	小論文	口頭試問

- ・ 配点については、2021 年度入学者選抜要項で公表します。
- ・ 英語については、民間の外部検定試験も活用します。

- ④ 推薦入試において、1 高校当たり推薦できる人数は、看護学科 5 人、理学療法学科 3 人、作業療法学科 3 人までとします。

(参考1)

2021年度入試から、入試区分を次のように変更するとされていますが、本説明会においては、分かりやすくするため、従来の区分で表記いたしました。

- ・ 「一般入試」＜変更前＞ ⇒ 「一般選抜」＜変更後＞
- ・ 「AO入試」＜変更前＞ ⇒ 「総合型選抜」＜変更後＞
- ・ 「推薦入試」＜変更前＞ ⇒ 「学校推薦型選抜」＜変更後＞

(参考2)

平成31年度入試における大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

(1) 一般入試

学部・学科名		大学入試センター試験の配点等						個別学力検査等の配点		配合	点計
		国語	地理 歴史	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	面接		
保健医療学部	看護学科	200点	100点*	100点*	100点	200点	250点	200点	100点	1,150点	
	理学療法学科	200点	100点*	100点*	200点	100点	250点	200点	150点	1,200点	
	作業療法学科	200点	100点*	100点*	100点	100点	250点	200点	200点	1,150点	

[大学入試センター試験・個別学力検査等の配点] 欄

{看護学科・理学療法学科、作業療法学科}

- ・配点に*印を付してある教科は、第1解答科目の属する教科のみ配点します。
- ・合否の判定は、センター試験及び個別学力検査等の成績等により、総合的に行います。
- ・面接の得点が30%未満の場合は、合計得点の如何にかかわらず不合格とします。

(2) 推薦入試

学部・学科名		試験科目		配点合計
		小論文	面接	
保健医療学部	看護学科	100点	100点	200点
	理学療法学科	100点	100点	200点
	作業療法学科	100点	100点	200点

- ・調査書等の提出書類は、面接時の参考資料として用います。
- ・面接の得点が50%未満の場合は、合計得点の如何にかかわらず不合格とします。

(3) AO入試 (地域枠)

学部・学科名		大学入試センター試験の配点等						個別学力検査等の配点		配合	点計
		国語	地理 歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	口頭 試問		
保健医療学部	看護学科	200点	100点*	100点*	100点	200点	250点	200点	100点	1,150点	

[大学入試センター試験・個別学力検査等の配点] 欄

- ・配点に*印を付してある教科は、第1解答科目の属する教科のみ配点します。
- ・合否の判定は、センター試験及び個別学力検査等の成績等により、総合的に行います。
- ・調査書等の提出書類は、口頭試問時の参考資料として用います。
- ・センター試験の成績が、各教科の配点合計の60%未満の場合は、不合格とすることがあります。
- ・小論文又は口頭試問の得点が30%未満の場合は、不合格とします。

(4) 編入学試験

学部・学科名		試験科目			配点合計
		専門科目	英語	面接	
保健医療学部	看護学科	300点	100点	100点	500点

- ・専門科目は、看護学全般（公衆衛生看護学・助産学を除く）、専門基礎科目です。
- ・面接の得点が50%未満の場合は、合計得点の如何にかかわらず不合格とします。